

事務事業名	《H22新規》バイオマスタウン構想事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2010-2109																				
	□ 実施計画事業		所属課室	地球温暖化対策室	課長名	保坂正彦																				
			所属担当	自然エネルギー推進担当	担当者名	河野慎介																				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01 名称 一般 款 04 項 01 目 05 細目 090 細々目 15																						
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																						
施策	32	自然と共生する地域づくり																								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成22 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 ~ 24 年度)			法令根拠																						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 バイオマス活用推進基本法に基づき、地域の特性を踏まえたバイオマスの利活用促進に関し基本的な方針を定めた構想で、市民、農林業団体、NPO団体、民間事業者などの連携により、発生から利用まで効率的で総合的な利活用システムを構築するための指針である。H22年度に国庫補助金の交付を受け策定した。計画期間はH23年からH32年までの10年間で、本市においては木質バイオマスと廃食油の利用に関し各年度ごとの効果を検証し、進捗状況や社会情勢等を加味したうえで、中間年には工程表の見直しも行う予定である。			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>普通旅費</td> <td>38</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>815</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>898</td> </tr> </table>			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	普通旅費	38			消耗品費	45			備品購入費	815					計	898
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																							
普通旅費	38																									
消耗品費	45																									
備品購入費	815																									
		計	898																							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績 進行管理、庁内打合せ会議の開催 ペレットストーブの購入 25年度活動予定 事業統合	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: 庁内打合せ会議</td> <td>回</td> </tr> </table>	名称	単位	ア: 庁内打合せ会議	回		
名称	単位								
ア: 庁内打合せ会議	回								
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	重点的に取組む市内のバイオマス資源	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: 重点的に取組む市内のバイオマス資源</td> <td>種類</td> </tr> </table>	名称	単位	ア: 重点的に取組む市内のバイオマス資源	種類		
名称	単位								
ア: 重点的に取組む市内のバイオマス資源	種類								
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	市内におけるバイオマス資源を把握し、それぞれに応じた活用方法を実践する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: 収集された廃食油の量</td> <td>ℓ</td> </tr> <tr> <td>イ: 木質バイオマスを利用した機器の導入数(ペレットストーブ・バイオマスボイラ)</td> <td>台</td> </tr> </table>	名称	単位	ア: 収集された廃食油の量	ℓ	イ: 木質バイオマスを利用した機器の導入数(ペレットストーブ・バイオマスボイラ)	台
名称	単位								
ア: 収集された廃食油の量	ℓ								
イ: 木質バイオマスを利用した機器の導入数(ペレットストーブ・バイオマスボイラ)	台								
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	バイオマス資源の利用によりCO2排出量が減り温暖化対策が推進される。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア: バイオマス資源の利用により削減されたCO2排出量</td> <td>t/年</td> </tr> </table>	名称	単位	ア: バイオマス資源の利用により削減されたCO2排出量	t/年		
名称	単位								
ア: バイオマス資源の利用により削減されたCO2排出量	t/年								

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円	2,765						
		地芳債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	2,895	898					
		事業費計(A)	千円	5,660	898	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2					
		延べ業務時間	時間	40	40					
		人件費計(B)	千円	158	158	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	5,818	1,056	0	0	0	0	0
		活動指標	回	1.0	1.0					
		対象指標	種類	2.0	2.0					
		成果指標	ℓ	1,205.0	1,500.0					
			台	18.0	4.0					
		上位成果指標	t/年	87.1	87.1					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H18年2月に策定した南アルプス市地域新エネルギービジョンにおいてバイオマスの利用がうたわれた。また、H21年に施行されたバイオマス活用推進基本法により、市町村活用計画の策定が求められたことにより、H22年度に国庫補助を受
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	CO2の削減等、市民の環境保全に対する意識は高まっている。また、太陽光や小水力、バイオマスなど、新エネルギーの開発、利用の推進が求められている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	確実な検証によりバイオエネルギーの活用を推進すべきとの声が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	廃食用油回収: 市内全域での回収
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	廃食用油回収: 毎週水曜日に温暖化対策室前で午後6時30分まで回収。

事務事業名	＜H22新規＞バイオマスタウン構想事業	所属部	総合政策部	所属課	地球温暖化対策室
-------	---------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 総合計画後期基本計画において、自然エネルギーの導入促進は施策の重点事業とされており政策体系との整合性は取れている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 構想では、行政はもちろん、市民や事業者、NPO団体などの役割を定めていることから、市の関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地球温暖化防止対策としてバイオマスエネルギーの導入を推進するもので、今後も継続的な取り組みが必要であり、対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 収集方法や啓発活動には創意工夫が必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない 「バイオマスタウン構想」が策定されたため、バイオマス資源利用促進事業と統合できる。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 バイオマス資源利用促進事業と統合することにより予算を精査できる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の職員のため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 温暖化対策に資する事業であり公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	検証作業を確実にを行い期待される効果が得られることを目指す。 ・公共施設へのベレットストーブは25台導入(目標達成) ・この事業は、バイオマス資源利用促進事業に統合する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					